

普及活動情勢報告（令和2年8月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

苺の若手生産者の勉強会を開催！

・・・JA高知県宿毛支所苺部会・・・



7月20日にJA高知県宿毛支所苺部会で勉強会を開催し、管内の若手生産者9名が参加しました。

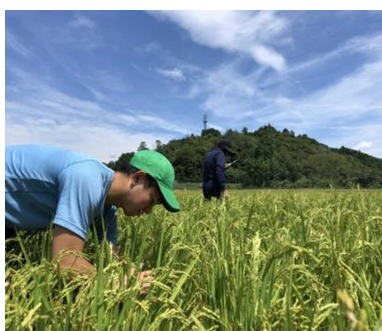
イチゴ栽培の基礎知識や品種特性、病虫害防除についての講習を行い、アドバイザーとして参加した部会長から、実体験に基づいたアドバイスをいただきました。

勉強会に参加した生産者からは、肥培管理や育苗管理など活発な質疑が出ました。

農業改良普及課では、今後も勉強会や現地検討会を開催し、若手生産者を支援していきます。

稲をたたいて虫を発見！

・・・病虫害発生予察・・・



7月21日に幡多地区の早期稲16ほ場、普通期稲8ほ場で病虫害の発生予察調査を行いました。今回実施したのは、払い落とし調査で、稲の株元を2、3回手でたたいて、生息虫を調査板の上に落とし、落下虫の種別、成幼虫別、翅型別に数えるというものです。

今月は、朝晩の低温の影響で全体として発生程度は低かったですが、普通期稲では特にコブノメイガの被害が見られました。

農業改良普及課では、水稻の病虫害の適期防除などの情報提供を行っています。

安全・安心な農産物を届けたい！

・・・農林水産物直販所「安心係」養成講習会・・・



7月27日に四万十市社会福祉センターで農林水産物直販所「安心係」養成講習会が開催され、直販所の従業員や農業者27名が参加しました。農業改良普及課からは、安全・安心な農産物管理、農薬の安全性や使用方法についての説明を行いました。

GAPやHACCPに取り組むことは、生産だけでなく、流通・販売・消費の各段階で事故を減少させることに繋がります。また、農薬の使用方法を間違えると直販所のイメージダウンを招きかねないので、注意してほしいと伝えました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、食の安全・安心の取組を一層進めていきます。

農福連携による施設レモン除草作業

・・・福祉事業所就労体験会・・・



7月28日に四万十市の施設レモン栽培農家のほ場で、福祉事業所の就労体験会を開催し、多機能事業所「アオ」から利用者4名と職員2名が参加しました。ハウス内は暑く、汗をかきながら除草作業に取り組みました。作業を確認した農家は「十分です。これからもお願いしたい」、また事業所は「雨天時にできる作業として、ぜひやりたい」とのことでした。

農業改良普及課は、今後も農福連携の推進に向けて、JAと協力してマッチングの仕組み作りを進めます。

スマート農業で大規模果樹栽培の省力化を！

・・・第1回推進会議・・・



7月30～31日に、三原村で「ユズの大規模生産におけるスマート農業を活用した労働力不足解消実証」の第1回推進会議を、代表機関の三原村農業公社を中心とした関係機関と(独)農研機構により、開催しました。

ほ場・労務管理ソフトとリモコン式自走草刈機の導入による省力化を主要課題として、全体計画の検討と、現地ほ場での草刈体系における課題を共有しました。

今後は、導入した機器の有効利用方法について、関係機関とともに検討していく予定です。

農業公社を幡多地域のGAP発信モデルに！・・・「はたのうGAP」見学会の開催・・・



8月3日、幡多地域の農業公社及びGAP認証取得意向農業者を対象に、JGAP認証を取得した幡多農業高校の取組見学会を開催し、13名の参加がありました。

GAP責任者の生徒から認証取得の経緯や日頃の取組の説明を受け、ハウスや作業場、倉庫等で農場の手順書や記録等を確認しました。

参加者からは、緊急事態発生時の連絡先表示や農作業機械置き場の看板が参考になったといった声が聞かれ、各公社でもGAP取組の機運が高まりました。

農業改良普及課は、農業公社が各地域のGAPの推進モデルとなるよう、取組を推進していきます。

地産地消の推進に向けて

・・・6次産業化支援チーム会・・・



8月4日、J A高知県幡多地区3階中ホールにおいて、6次産業化支援チーム会を開催し、J A高知県幡多地区女性部から17名の参加がありました。

支援チーム会では、加工調理場を活用して弁当や惣菜等を製造できるグループの紹介に続き、食材カレンダー、料理リスト、料理レシピを参考に、想定されるメニューや食のアドバイザーからの提案メニューについて意見交換を行いました。

農業改良課では、地域食材を活用した商品づくりや課題整理等への助言を行い、令和3年4月オープン予定のJ Aグリーン四万十店の開業に向けて支援していきます。

環境にやさしい農業に取り組もう！

・・・国際水準GAP研修会の開催・・・



8月4日、四万十市の環境にやさしい農業のための研究会と名鹿環境保全型農業研究会を対象に、四万十市役所で国際水準GAP研修会を開催し、5名が出席しました。

参加者は国際水準GAPに取り組んでおり、各自の農場で実施できる改善項目について質問が多く出ました。座学だけでは見つかからない点もあるので、後日、役場と協力して、農業者のほ場等を点検することになりました。

農業改良普及課は、国際水準GAPの研修会と現地指導を行い、農場管理のレベルアップに向け、支援していきます。